

## 社会安全・警察学研究所の活動概要

(平成31年4月～令和2年3月)

平成31年(2019)

5月

- 5月11日 NPO 法人神奈川子ども支援センター「つなぐ」設立記念市民公開講座「子どものSOSを支援につなげる」のパネルディスカッション「行政、司法、医療など子どもを取り巻く全てがつながるために」にパネリスト参加。(田村正博)
- 5月23日 児童虐待事案における刑事的介入と多機関連携のあり方について、福岡市子ども総合相談センター訪問調査(増井敦)

6月

- 6月5日 児童虐待事案における刑事的介入と多機関連携のあり方について、神戸地検姫路支部訪問調査(増井敦)
- 6月10日 児童虐待事案における刑事的介入と多機関連携のあり方について、京都府警察本部捜査第一課訪問調査(増井敦)
- 6月16日 NPO 法人神奈川子ども支援センター「つなぐ」関係機関勉強会に参加。(田村正博)
- 6月22日 日本被害者学会第30回学術大会において「DV被害者相談における警察と民間被害者支援組織の比較分析～仮想事例調査とその言語分析を中心に」と題して報告。(田村正博、新恵里)
- 6月25日 警察大学校調査につき警察大学校で説明。(田村正博)
- 6月30日 「児童虐待事案における刑事的介入と多機関連携のあり方」に関する検討会を開催(増井敦)参加者は、福岡市・久保健二、神戸地検姫路支部・赤塚里美、京都府警察・三原恵、京都大・稲谷龍彦

7月

- 7月1日 JICA 国別研修において、トルコ政府内務省行政官に対し「日本の警察の仕組みと行政」を講義。(田村正博)
- 7月6日 研究会開催。報告 曾和俊文(関西学院大学大学院司法研究科教授)  
テーマ:「児童虐待防止法の調査権について－行政法学の立場から－」(田村正博、成田秀樹、須賀博志、増井敦、新恵里、平阪美穂)
- 7月28日 日本刑法学会関西部会にて研究報告、於神戸大学  
共同研究「児童虐待事案における刑事的介入と多機関連携のあり方」(増井敦、福岡市・久保健二、神戸地検姫路支部・赤塚里美、京都府警察・三原恵、京都大・稲谷龍彦)

8月

- 8月5日～19日 警察大学校警部任用調査票調査実施(浦中千佳央、キム・ゴウン)

## 9月

- 9月3日－4日 第2回少年補導職員座談会・研究会開催。(田村正博、新恵里、増井敦)
- 1日目 少年補導職員9人による事例報告と協議。(田村正博、新恵里、増井敦)
- 2日目 少年補導職員9人、田中晶子(四天王寺大学)、三原恵(京都府警察)、岡聰志(元横浜市児童相談所)、清水孝教(元横浜市児童相談所)による研究会開催。(田村正博、新恵里、増井敦)

## 10月

- 10月17日 和歌山県子ども・家庭・障害者相談センターを訪問。同センター古久保氏にインタビュー。(須賀博志、増井敦)
- 10月19日 全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会分科会において、「被害者支援の歴史と展望(行政との関わりを中心に)」を講演。(田村正博)

## 11月

- 11月5日 現地視察。大阪中央少年サポートセンター、同センター内 青少年クリニック、泉大津市こどもサポートセンター(田村正博、須賀博志、成田秀樹、新恵里、久保秀雄、浦中千佳央)
- 11月17日 土井聡(和歌山県子ども・女性・障害者相談センター参事・弁護士)調査訪問。(須賀博志、増井敦)

## 12月

- 12月21日 日本子ども虐待防止学会第25回学術集会大会シンポジウム「児童相談所と警察の連携の在り方」に参加。「警察の介入過程の見える化による連携の促進」につきパネリスト発表。(田村正博)

## 令和2年(2020)

## 2月

- 2月17日 シンポジウム開催。「性暴力被害者のために何が必要か、何ができるか？」
- ・小西聖子：第1部 基調講演「性暴力被害者の現状と課題—精神医学的、心理学的視点から」
  - ・松浦賢長：第2部 講演「福岡県性暴力根絶条例の具体化について」
  - ・片岡笑美子：講演「病院拠点型ワンストップ支援センターの意義—多機関多職種の連携を中心に—」
  - ・第3部 パネルディスカッション
- コーディネーター 田村正博
- パネリスト：赤羽史子、小西聖子、松浦賢長、片岡笑美子、新恵里、増井敦

## 3月

- 3月14日 研究会開催。報告 土井 聡 氏(和歌山県子ども・女性・障害者相談センター参事・弁護士)
- テーマ「子どもの最善の利益から考える児童虐待防止のための対応と課題」(田村正博、須賀博志、新恵里、増井敦、大橋忠司、平阪美穂)
- 3月23日、24日 福岡県性暴力根絶条例の施行準備等につき調査訪問。(田村正博)
- 北九州少年サポートセンター等(23日)、本部生活安全企画課(24日)